

第67回近畿高等学校弓道大会 結果報告

男子団体 3位入賞！

女子個人で 山田が3位入賞！

7月20日(日)・21日(月)、大阪城弓道場において「第67回近畿高等学校弓道大会」が行われました。この大会は、各府県の予選を勝ち抜いた個人で男女各60名、団体で20校が参加して争われます。8月のインターハイに出場する学校はその前哨戦として、その他の学校は、インターハイ出場を逃した悔しさをぶつける大会となります。本校は、個人戦に男子小野原、女子山田、団体戦に男子団体が出場しました。

◆7月19日(土) 壮行会・道場開放(公開練習)

この日は、本校の終業式です。その場で弓道部の近畿大会出場の壮行会をしてもらいました。「優勝目指してがんばります！」と全校生徒の前で宣言しましたが、あとで「言っちゃった・・・」とちょっぴり後悔・・・でも、「予選さえ通れば“優勝”を狙える。」という自信はありました。

壮行会

「優勝狙います！」

あっ！言っちゃった・・・

「クラブ員の応援歌」で勇気をもらいました。



午後、大阪城弓道場での練習です。この練習では、団体で出場する学校の選手は学校名の入ったゼッケンを、個人戦に出場する選手は番号のみのゼッケンをつけて練習をします。過去出場した近畿大会では、個人のみでの出場だったので番号のみのゼッケンでした。でも今回、学校名の入ったゼッケンをつけて他府県の選手に混じって練習することができ、「大阪の英真学園」をアピールすることができました。また、この前日練習のいいところは、各府県の代表選手の射を間近で見ることができることです。本当に見ているだけでも楽しくなります。顧問の立場としても、各校の監督さんがどのような指導をしているのかをいろいろ見させてもらうだけでもいい勉強になります。



◆7月20日(日) 開会式・個人戦

開会式のあと、まずは個人戦です。2立8射5中以上で予選通過、その後は予選の的中に関係なく射詰競射となります。まず男子の小野原です。予選を8射7中で余裕の通過。しかし、最後の1本を外していやな気分のまま、決勝射詰に挑みました。予選を通過したのは59名中21名。射詰1本目、不安が的中し、あっさり外してしまいました。昨年の近畿選抜大会で準優勝し、今回も優勝を狙っていただけに残念でなりません。

女子の山田も小野原同様8射7中という高的中で予選を通過しました。前日まであまり調子はよくなかったのですが、本番での強さを発揮しました。予選を通過したのは60名中29名でした。射詰1本目、外せば終わりという、独特の緊張感のなか見事の中。その後2本目、3本目、4本目と的中しました。この時点で6名に絞られました。5本目からは、的の大きさが36cmから24cmになります。各大会でも的が小さくなった直後の5本目が勝負の分かれ目となることが多くあります。当てれば優勝の可能性がありましたが、残念ながら外してしまいました。万事休すかと思いましたが、なんと6名全員が外し、再度チャンスがめぐってきました。6本目、今度は見事の中。しかし7本目を外して3位・4位決定の遠近法による競射にまわりました。結果、見事3位入賞を果たしました。大健闘です。よく頑張ったぞ！



◆7月21日(月) 団体戦

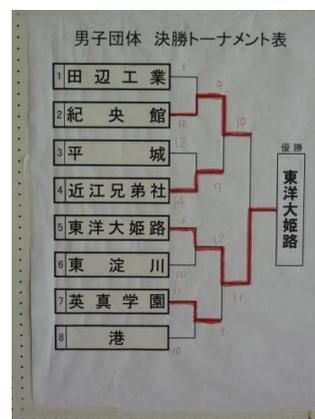
いよいよ団体戦です。廣橋、西本、小野原、前田、樋田(控え 流)のメンバーで挑みます。団体の予選は、1立計20射の1発勝負で上位8校に絞られます。1発勝負のプレッシャーで、本当に力のある学校以外はことごとく潰れていきます。本校はいつも1立目が悪く、2立目以降に盛り返すというパターンが続いていました。しかし、今回は1立目がダメなら次はありません。そこでこの1、2週間は、1立目に力を発揮できるように練習から意識させてきました。先週には、その朝1番の1立目のためだけに、汎愛高校に無理を言って練習試合をさせてもらいました。そこで13中を出せたことで、少し自身を持ってこの大会に望めたと思います。

さあ、勝負の予選です。1本目、廣橋が的中も残り4人が外すというまさかの展開。またダメか・・・と思いましたが、2本目以降立ち直り、合計12中としました。よく盛り返したと思います。あの1本目の状況から盛り返せたということは、本校にも本当の力がついてきたということだと思います。結果、5位タイで予選を通過し、見事ベスト8に進出しました。また、地元開催の意地をみせて、大阪からは英真学園、東淀川、港の3校がベスト8に入りました。

予選終了後、ベスト8による準々決勝の組み合わせ抽選が行われました。その結果、本校は、同じ大阪の港高校と対戦することが決定しました。しかも、同じゾーンに昨年の優勝校で、今大会予選トップの兵庫県の東洋大姫路高校と予選2位の東淀川高校が入りました。大阪3校が同じゾーンに入って潰しあうという抽選結果となりました。

準々決勝の港高校戦です。いつもの大阪城弓道場で、相手が港高校ということでなんだか近畿大会という気がしませんでした。港高校には大阪予選の決勝リーグ戦で負けているので、部員も今回は絶対に勝つと意気込んでいました。結果1本差でしたが勝利し、準決勝進出を決めました。3位決定戦がないので、この時点で3位入賞が決まりました。

準決勝。準々決勝まで調子が出なかった西本を流に変更して勝負に出ます。相手は準々決勝で東淀川高校に16中という高的中で圧勝した東洋大姫路高校です。強いのは間違いありません。しかし、続けて16中、17中と高的中が続くとも思いませんでしたので、前半食らいについていけば勝機があるのではないかと考えていましたが・・・1本目まさかの5人全員外すという今までにない悲惨な結果となり、この時点で勝負は決まりました。後半盛り返し9中まで持っていきましたが、完全に自滅です。相手の強さに「自分たちは1本でも外したら負ける。」みたいな過剰なプレッシャーを感じてしまっていたのではないのでしょうか。結局相手も12中だったため、試合後生徒は「悔しい、勝てたのに。」と残念がっていました。でもそれは結果論です。力の差は歴然としていました。最後に負けて悔しい思いをしましたが、創部4年目の本校としては「団体3位入賞」は胸を張っていい結果だと思います。本当によく頑張りました。



お疲れ様でした・・・

3年生は今大会でとりあえず引退となります。この学年の生徒は、創部2期生となります。部を立ち上げた1期生とともに、少ない人数ながら、部としての形を作り、大会で結果を残してきた学年でした。目標であった大阪での団体優勝はなりませんでしたが、常に2位、3位に入賞できる力をつけてきました。最大の目標であった「インターハイ出場」が叶わず残念でしたが、この近畿大会で最後の大きな“花”を咲かせました。本当に大きな財産を部に残してくれたと思います。本当にありがとう。また、お疲れ様でした。このあとは、国体の近畿ブロックを控えているもの、9月の大阪総体に出場するものは、今後も練習を続けることとなりますが、基本的には、進路決定のための補講や学習が中心となります。クラブに打ち込んでいた分、他の生徒に比べて進路に対する取り組みは遅れていると思います。これからしっかり巻き返していきましょう。クラブで結果を出しても、成績が悪かったり、進路が決まらなかったら、何の意味もありません。しっかり頑張ろう。

これからは実質2年生が中心となり活動していきます。試合を経験した2年生はもちろん、応援に来ていた1年生にとっても、今大会の経験をどう生かすかが大事になります。「プレッシャーに負けない他校の堂々とした射」「当たった、外れた。勝った、負けた。で一喜一憂しない態度」「真剣に応援する姿」「挨拶やマナー」・・・君たちの目指すべきものがここにあります。

新チームとして、まずは9月の大阪総体を目指すこととなります。また、今年の最大の目標は、全国選抜の予選を兼ねた11月の新人戦です。

絶対「大阪優勝」の目標を達成して「全国選抜」に行くぞ！



※ 今回もたくさんの保護者の方に応援に来ていただきました。また、部員の友人、他クラブの生徒も来てくれていました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

**今日の成果は、過去の努力の結果であり、
未来はこれからの努力で決まる。**